

## 1 研究主題

児童が納税や政治に興味・関心をもち、考えを深める指導の工夫  
～身近な地域（岩沼市）を題材とした学習活動の工夫～

## 2 主題設定の理由

「これまで政治や税金の使い方について普段から、新聞やニュースを読んだり、見たり、聞いたりしていますか？」と、授業中や休み時間中に児童に問いかけると、返ってくる反応が薄いと感じていた。実際に小学校で政治分野の学習活動や授業を進めていると、「政治や公民は難しい言葉が並んでわからない」「選挙や納税は大人になったら、しなくてはならないものだから仕方なく行う」といった声が聞こえてきたり、感想で書かれたりすることがある。特に、納税に関しては、「国民の三大義務の一つということを学習したので、納税はしなくてはならないものだ」と思っている児童が多く、自ら進んで納めるというよりは、「支払わなければならない」と考えている児童が多いようにうかがえる。小学生という発達の段階で、児童が政治や納税に対して興味や関心を高めるためには、どのような教育活動を行い、児童にどのようなことを考えさせなければならないか、明らかにしたいと考えた。

児童が普段から使用している公共施設の見学の活動や理想の公園について考える実践授業を通して、実際に暮らしている身近な地域（岩沼市）の公共施設について理解を深め、将来の納税や政治が暮らしを豊かにしていくために必要であることに気付かせたい。さらに児童一人一人が納税や政治を将来の自分の事として関心をもち、考えを深めながら自分の住む岩沼市をよりよくしようとする児童を育てたいと考え、本主題を設定した。

## 3 研究目標

自分の住んでいる身近な地域の政治や公共施設についての学習活動を通して、納税や政治について自分事として捉え、さらに考えを深めるための指導法を探る。

## 4 研究方法

- (1) 5学年において租税教室を受講することにより、税金についての基礎的な知識やその使われ方の仕組みについて理解させ、税金の必要性や重要性について考えさせる。
- (2) 6学年の社会科「子育て支援の願いを実現する政治」の学習を通して、税金の役割や自治体の政策について理解させる。さらに、自分の住む地域と結び付けて考えられるようにする。
- (3) 税金について学習したことをもとに、税金の大切さについて絵はがきにまとめ、絵や文で表現させる。

- (4) これまでの学習の内容に基づき、税金に関するアンケート調査を行い、理解状況についての実態把握をする。
- (5) 身近な地域のコミュニティセンターや岩沼市議会会議場の見学活動を行い、岩沼市での税金の使われ方や政策について、一人一人に課題をもたせ、見学の意欲を行い、また、施設で働く人へインタビューを行うことによって、身近な公共施設の必要性や重要性などについて実感させる。また、活動の振り返りをさせ、分かったことや考えたことを整理させる。
- (6) 実践授業において、理想の公園についてグループで話し合う活動を通して、岩沼市の将来の公園について考える活動に取り組みさせる。
- (7) 成果と課題を取りまとめる。

## 5 研究の概要

### (1) 5 学年 租税教室開催【5 クラス 172 名受講】

① 実施時期 令和3年11月

② 講義内容

- ・税金とは何か 映像教材「マリンとヤマト 不思議な日曜日」の視聴
- ・もし、税金が無かったらの考察
- ・税金でできているものについて
- ・税の種類
- ・教育費と税
- ・一億円の重さ「レプリカの重さを体験」
- ・世界の税金について（渋滞税、うさぎ税、ソーダ税等）
- ・国民の三大義務と納税について
- ・宝くじと税金について
- ・税金の日本における歴史



③ 講義を受けての児童の感想 【172名の内、一部抜粋】

今日は租税教室がありました。丹野さん税金の事を教えていただきありがとうございます。東日本大震災が終わったときに税金が12兆使われた事を知っておどろきました。震災復興支援金については、すごくいいなと思いました。

私が一番驚いたのは、税金の種類が50種もある事です。それから、昔の税金の名前を面白いなと思いました。世の中の一部分が知れてよかったです。

税金の事について分かった事はたくさんあるけどその中から3つびっくりしたことが

あります。1つ目は税金の種類が50種類もあるということです。2つ目は、日本はいっぱい借金をしていることです。3つ目は税金がなくなると大変なことです。特に税金がなくなると橋が壊れても直されないこと、教科書を自分たちで買うこと、道路を自分のものにする、いろいろ自分たちの生活が大変になることが分かりました。税金のことを学べて良かったです。

アニメで税金がない世界を見て、税金はすごく大切なのだなと思いました。税金がなくなった時に、通行料や火事を消すのもいちいちお金がかかるのもすごく大変だなと思いました。前までは消費税とか嫌だなと思っていたけどこのアニメや先生の説明を聞いてすごく大切なのだなと思いました。そして税金についても問題など、授業もすごく楽しかったのでまた詳しく教えてほしいです

私がおやつを買うときに100円のお菓子は10円ぐらいプラスされていて嫌だなと思ったけど、その税金が私たちの色々なところに使われているということを知って、税金は大切なのだなと思いました。

#### ④ 考察

児童は、「税金」という言葉自体は聞いたり知っていたりしていたが、租税教室が開かれる前は、税金の意義や必要性について正しい理解をしておらず、どちらかといえば納税することに対して抵抗感がある児童が多かったように思う。今回の講義を受けて、税金が生活に関わっていることや、暮らしを豊かにしたり、災害などの際に復興費として使われたりすることを知って、税金に対する思いが変化したことを述べる児童が多かった。



#### (2) 実践授業 社会科6学年「子育て支援の願いを実現する政治」【6年4組36名】

※ 本単元は、他の4学級はそれぞれの担任が授業を実施した。

① 実施時期 令和4年5月～6月

② 実施内容 教科書〈東京書籍〉新しい社会6 34ページ～45ページ)

〈単元の指導計画〉

時	主な学習内容や活動	研究目標との関係について（授業における指導・支援のポイント）	評価について
1	<p>児童センター【あすばる】の様子と地域住民の願いについて話し合い、学習課題をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>租税教室で学習したことを想起させ、地域の児童センターや児童館は市で運営している公共施設であるということを確認する。</u></li> <li>・ <u>教科書に掲載されている児童センター「あすばる」は、子育てをしている大人や、子供世代のために利用されている施設であるということを理解させ、身近な地域である岩沼市にも児童館や図書館などが同じように運営されていることを確認する。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分なりの課題をもち、予想や見通しをもつことができる。</li> </ul>
2	<p>「あすばる」の活動の内容や、運営する上でのくふうについて理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「あすばる」が赤ちゃんから高校生まで利用できることや、年代によって活動内容を変えていることについて知らせ、施設の使いやすさや要望を参考に取組んでいることを理解させる。</li> <li>・ <u>岩沼市の地域にある児童館などでも、地域住民の願いや要望によって取組が決まっているのではないかという予想や疑問をもたせる。</u></li> <li>・ <u>岩沼西コミュニティセンターの見学について知らせ、市の公共施設がどのような工夫をしながら運営をしているか予想させる。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年代などにおける発達段階によって、取組や設備の要望が違うことに着目し、柔軟に対応できるように運営がされていることに気付くことができる。</li> </ul>
3	<p>「公共施設」が作られる経緯や、どのように地域住民の願いが集まるのかという仕組みについて理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民住民の願いがどのように市役所に伝えられ、さらにその願いは、どのようにして実現されているのかということを、市役所や県や国の政治の働きと関係付けて理解させる。</li> <li>・ 市民の願いに沿って、市議会が公共施設を建設するかどうかを決めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民住民の願いが関係各所（市議会、市役所、県、国等）にどのように伝えられているのか、図や絵を利用して整理し、政</li> </ul>

		<p>ことを理解させる。決定後、国の法律や県、市の条例に基づいて、市役所が計画を立てて建設することを理解させる。</p>	<p>治が生活を支えているという関係性について理解することができる。</p>
4	<p>市議会のはたらきと「あすばる」がどのような話合いのもと建設や運営の計画を立てているのか理解する。</p>	<p>・市議会の働きや、市議会を構成する市長や市議会議員が市民による選挙によって選出されていることを理解させ、市民が選挙によって、自分の意見を政治に反映させていることの重要性について気付かせる。</p> <p>・<u>岩沼市の市議会の見学をすることを伝え、どのような場所で、どのような話合いが行われているのかなど課題をもたせ、見学への意欲をもたせるとともに、学習したことと関係付けて課題の答えを予想させる。</u></p>	<p>・市議会の働きや議員の選出方法が、国会の働きや国会議員の選出方法と同じであることを理解することができる。</p> <p>・市の将来をよりよいものにするために判断する議員かどうか、選ぶ市民にも大きな責任があることを理解することができる。</p>
5	<p>「あすばる」をつくるための費用が税金から出されていることを理解する。</p>	<p>・税金の意義や、重要性について確認し、税金の使われ方についてどのような工夫があるのか話合わせる。</p> <p>・<u>租税教室で学んだことについて想起させ、税金は社会の会費であることや、教育、福祉、医療など様々な分野において、住民の暮らしを支えるものであることを理解し、自分の生活と関係付けて税金の使われ方について考えをもたせる。</u></p>	<p>・税金の使われ方について話し合い、自分だったらどのように使ってほしいのか自分の考えを書くことができる。</p>
6	<p>学習課題について調べて分かったことを整理し、児童センターがつくられるまでの政治の働きにつ</p>	<p>・学習したことをノートに整理させ、分かったことや気付いたことなどを書かせる。</p> <p>・<u>岩沼西コミュニティセンターや岩沼市議会会議場の見学について、教科書</u></p>	<p>・学習したことをノートに整理し、考えたことについて短い文章でまとめることができる。</p>

	<p>いて整理する。さらに、子育て支援の願いを実現する政治の仕組みについて考えをもたせる。</p>	<p><u>の学習内容を基に、個人の課題を設定し、課題に対して予想させる。</u></p>	
--	---	---	--

### ③ 児童の学習課題や感想

<p><b>【あすばるについて、主な学習課題】一部抜粋</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつ、どこで、どのように、誰が公共施設を作ることを決めているのかを知りたい。</li> <li>・どのくらいの費用が出されているのかを知りたい。</li> <li>・何が行われているのか知りたい。</li> <li>・市民の声がどのように届き、どのように話し合いが行われているのか。</li> </ul>
--

<p><b>【学習の感想】一部抜粋</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あすばる」が市民の願いを受けて、市議会で話し合いが行われ、税金によって建てられているということが分かりました。ちゃんと正しく使われてほしいです。</li> <li>・ノートに分かりやすくまとめることができました。公共施設は、国や市などたくさんの補助や支援、市民の税金によって作られているのが分かりました。岩沼市の公共施設も調べたいと思いました。</li> <li>・私たちの市の市議会でも、しっかり話し合って決めてほしいなと思いました。</li> </ul>
--

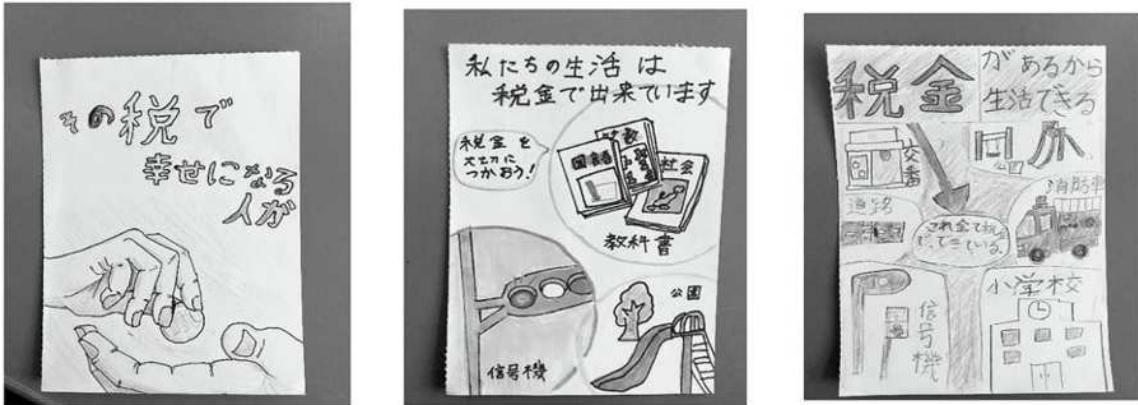
### ④ 考察

公共施設を建てる際には税金がどのくらいかかるのか、誰がどのように決めているのかという「税金を正しく、適切に使っているのか」「公平に市民の声が反映されているのか」と、するどい意見をもっている児童も数人見られた。昨年度の租税教室の時に比べて、政治や納税について自分の考えをもち、自分の住んでいる地域や自分の生活と結び付けて考える児童が増えてきたように感じた。

#### (3) 税に関する絵はがきコンクールへの出品

- ① 実施時期 令和4年9月
- ② 出品者数 6学年5クラス（165名が出品）

③ 児童の作品の例



④ 考察

税に関する絵はがきコンクールの出品されている作品を分析すると「税金が暮らしの様々なことに使われていること」「適切に払うことによって、社会全体が支えられること」「税金によって助けられる人がいること」「税金が様々な世代の幸せな暮らしに関係付けて使われていること」を表現する児童が多い。これまでの税金の学習について理解を深め、税金の適切な使い方に対する自分の思いをもち始めている児童が増えたように感じた。

(4) これまでの学習に基づいた児童の実態調査

- ① 令和4年9月1日
- ② 税や公共施設に関するアンケート調査の内容

<p>問1 税金は何に使われていますか。</p> <p>【複数名が答えたもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 42名</li> <li>・道路 38名</li> <li>・学校 30名</li> <li>・公共施設 29名</li> <li>・信号 20名</li> <li>・公園 19名</li> <li>・消防 12名</li> <li>・救急（救急車含む） 11名</li> <li>・病院 10名</li> <li>・警察 10名</li> <li>・公務員の給料 8名</li> <li>・ごみの回収 8名</li> <li>・教材、教育費 8名</li> <li>・医療関係 4名</li> <li>・子供の医療費免除 4名</li> <li>・国葬 2名</li> <li>・国や市のため 2名</li> </ul> <p>【1名が答えたもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭</li> <li>・遊具</li> <li>・横断歩道</li> <li>・コミュニティセンター</li> <li>・みんながつかうもの</li> <li>・農作業や養殖業をしている人への支援</li> <li>・生活支援</li> <li>・災害の時に使われる</li> <li>・図書館</li> <li>・iタブ（岩沼市の児童用配布タブレット）</li> <li>・市のサービス</li> <li>・学校の電気や水道代</li> <li>・机</li> <li>・橋</li> <li>・寄付</li> <li>・消防で使う水の代金</li> <li>・防衛費</li> <li>・自衛隊</li> <li>・住宅</li> <li>・年金</li> <li>・給食</li> <li>・ユニバーサルデザイン</li> </ul>
---

・よりよい町にするために使われるもの ・刑務所 ・出産費用

問2 税金を将来納めたいと思いますか。

問3 理由を教えてください。(理由は一部抜粋)

納めたい 105名

- ・納めないと暮らしが大変なことになるから。
- ・みんなのためになるお金だから払いたい。
- ・税金を支払わないと困る人が出てくるから。
- ・警察や救急車が動けなくなったら困るから。
- ・自分が困った時に助けてくれるものだから。

どちらかというとなめたい 42名

- ・学校に通えなくなるから
- ・支払わなければならないけれども、みんなのために使ってほしいから。
- ・お金がかかるけど、生活のために使われるから。

どちらかというとなめたくない 5名

- ・義務付けられているものだから払うものだと分かっているが、税金はあつた方がいいと思うけど、強制でなければ払わない。
- ・自由にお金を使いたいから。
- ・無駄にお金を支払いたくないから。

納めたくない 1名

- ・なぜ税金を払わなければならないか分からないから。

問4 岩沼市の公共施設で利用したことがあるものについて選択しましょう。

市民会館や中央公民館・・・68名

岩沼西コミュニティセンター・・・45名

総合体育館や陸上競技場・・・136名

グリーンピア岩沼・・・140名

西児童センター・・・100名

ハナトピア岩沼・・・99名

岩沼市民図書館・・・133名

その他・・・15名

(地域の公園、学校、勤労センター、玉浦の公民館、他の小学校 等)

〔考察〕

税金が何に使われているかという質問に関しては、教科書や道路、学校という回答が多



かった。その理由としては、普段の生活で身近なものであることが大きいことが考えられる。また、5学年の時にいった租税教室の中で、町の道路が壊れたとして税金が無いと直すこともできないし、通ることもできなくなってしまうという話題が印象的に残ったからではないかと思われる。他にも暮らしを豊かにするために様々なことに使われたり、困った時に使われたりするという認識をしている児童がほとんどであった。

税金を納めたいかという質問については、「納めたい、どちらかというとなめたい」と答えた児童が多く、「みんなのために使うもの」「無いと困る人がでてくる」といったように、社会のみんなでするというイメージを強くもっている児童にとっては、「必要」と肯定的に考えていることが推測される。「納めたくない、どちらかといえば納めたくない」と答えた児童をあわせて6名いるが、「自由にお金を使いたい」「仕方なく払うもの」と答えていることから、納税をすることに対して悪いイメージがあり、自分の生活に役立っているという実感が乏しいことが原因ではないかと思われる。

岩沼市の公共施設の利用に関しては、ほとんどの施設を利用したことがあると答えており、多くの児童が身近な地域の公共施設に慣れ親しんでいることが分かる。そこで、税金を払う意義について学ぶ際に、身近な地域でよく利用している公共施設などと結び付けて考えさせることが租税学習をする上で有効ではないかと考えた。

#### (5) ー1 公共施設の見学活動〔岩沼西コミュニティセンターの見学〕

- ① 実施時期 令和4年10月25日(火)実施
- ② 実施内容
  - ・施設内見学・・・防災教室や利用可能な設備の説明
  - ・質問
- ③ 事前学習で取りまとめた質問内容

<ul style="list-style-type: none"><li>・施設でできることや、どんな取り組みやイベントなどをしていますか。</li><li>・なぜ、できたのですか。地域の人どのような願いや声があったのですか。</li><li>・1日に来る人数が知りたいです。どのような年齢層の方々が利用しますか。</li><li>・計画ができてからどのくらいの年月で作られたか。</li><li>・どうしてこの場所にできたのですか。</li><li>・何人働いていますか。どんな仕事をしていますか。</li><li>・建設費にかかった費用はいくらですか。また、建設費や運用費はどこから出てきているのですか。</li><li>・施設の目標があれば教えてください。</li><li>・このセンターのすごいところを教えてください。</li><li>・働く上で、気をつけていることを教えてください。</li><li>・高齢者や小さい子が楽しめる工夫はありますか。</li><li>・タンクの中身を教えてください。</li><li>・なぜ、コミュニティセンターという名前にしたのか。</li></ul>
--

- ・利用者が快適に過ごすための工夫があれば教えてください。
- ・岩沼市内の他のコミュニティセンターの違いはありますか。
- ・使われている木材や、木の種類は何ですか。（宮城県産ですか）
- ・地震の時にどんなことが行われますか。

④ 児童の感想とまとめ（ロイロノートで提出したもの）

分かったこと	考えたこと	写真
<p>土地の面積 約6000m<sup>2</sup>            建物の面積 約950m<sup>3</sup>            タンクには40tも水が入る            タンクは約40m<sup>3</sup>            かまどベンチがあり調理したりできる            湿度と気温、日付や時間がわかる時計がある            図書館があり、4000冊も本がある            災害用仮設トイレがある            エレベーターがある            建設費用が約6億4千700万円かかった            木造建築でいろいろな木を使って作られていた            平日の方が休日よりも利用者が多い            1日平均70人ぐらいの人が利用している</p>	<p>建設費用がこんなにかかっていてびっくりしました。タンクに40tも水が入ってすごいと思いました。図書館で本を読めたり、カラオケをしたり、部屋を借りたりもしているいろんなことができる施設だと思いました。仮設トイレがあつて災害時でも安心してトイレを使えると思いました。高齢の方なども簡単に2階へ上がることができるエレベーターもあつて工夫がたくさん詰まっていると思いました。自分も利用して見たいと思いました。岩沼西コミュニティセンターからたくさんの方を学べたので勉強などに活かしていきたいです。</p>	

分かったこと・知ったこと	写真	考えたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積…土地6000㎡ 建物950㎡</li> <li>・タンク…緊急用の飲料水(40t)が入っていて、緊急時は給水に使われる。</li> <li>・かまどベンチ…通常はベンチになっていて、緊急時はベンチを取り外して煮炊きができるようになる。</li> <li>・災害用仮設トイレ…普通のトイレと同じように下水道につながっている。</li> <li>・木材…カラマツ、スギ、オウシュウアカマツ、ヒノキ（ムク？）</li> <li>・やっていること…部屋を貸す(100を超える団体に)、図書のを貸し出し、地域の団体の支援</li> <li>・名前…東日本大震災からコミュニティの大切さを感じ、コミュニティセンターになった。</li> <li>・誰でも使えるように…ドアが大きい、廊下や部屋が広い、点字ブロックがある、多目的トイレなどようになっていた</li> </ul>		<p>○防災について        今日のコミュニティセンターでかまどベンチや災害用仮設トイレ、給水タンクを見て回って、防災の取り組みの素晴らしさを感じました。例えば、かまどベンチには、たくさん工夫がありました。まず、通常はベンチになっていて、緊急時は煮炊きができるようになっていることです。僕は、このときにも、取り外したベンチを使えるのではないかと考えました。        このように、防災の取り組み一つでもたくさん工夫があることに気づきました。</p> <p>○施設について       僕は、今日車椅子で見学させてもらいました。最初は、車椅子だから見学するのが大変になるだろうと思っていましたが、廊下が広くて、スムーズに見学することができました。        この岩沼西コミュニティセンターのように誰もが安心して利用できる施設はすごく大切だと感じました。</p>

など



(5) - 2 公共施設の見学活動〔岩沼市議会会議場の見学 ※見学の予定〕

① 実施時期 令和4年11月4日(金)実施

② 実施内容

- ・施設内見学
- ・質問

③ 事前学習で取りまとめた質問内容

- ・会議の開催の頻度を教えてください。
- ・1日の会議の時間はどのくらいですか。
- ・どのくらいの人数で会議はされているのですか。
- ・一般市民は入れますか。
- ・会議場の施設としての、特徴を教えてください。
- ・会議場の広さを教えてください。傍聴席には何人入れますか。
- ・市民の声がどのように会議に反映されているのか教えてください。
- ・今後どんな公共施設の建設がありますか。
- ・どのような話題や議題が話し合われているのですか。
- ・どうして岩沼市の議員になろうと思ったのですか。どうやったら議員になれますか。
- ・会議の仕方や議決の取り方を教えてください
- ・岩沼市の税金は主にどのように使われているのですか。最近の話合いで税金からの

支出で一番高かったものの値段を教えてください。

- ・会議での決定から、実施するまでの時間はどのくらいかかりますか。
- ・岩沼市の市政で独自の取り組みがあれば教えてください。
- ・議員さんや会事場で働く人は、会議がない時は何をしていますのですか。
- ・議題はどのようにして決められるのですか。

#### ④ 見学活動についての考察

事前に児童に施設で働く人に聞きたいことについてアンケート調査を行い、施設で働く方々に見学の当日に質問ができるように計画した。

児童の質問内容を見ると、施設そのものについて、そこで行われていること、働く人について、興味や関心が高いことが分かった。特にコミュニティセンターの見学においては、防災やバリアフリーの視点など、地域に住む人々が「どんな人でも使いやすい」「緊急時にはみんなで助け合う」という視点で作られた公共施設であるということが実感を伴って分かったようだった。今回のように、公共施設の見学を行う際には、事前に疑問点などについての質問事項をまとめ、興味・関心をもたせて見学に臨むことで、見学の視点が明確になり、理科が深まることが分かった。これから行う岩沼市議会会議場の見学も児童は楽しみにしているので、実感を伴うような活動にしていきたいと考える。

#### (6) 実践授業 社会科6学年「理想の公園について考えよう」【6年5組33名】

- ① 実施時期 令和4年10月26日(木)
- ② 実施内容

#### ○ 実践授業について

単元(題材・教材)名	子育て支援の願いを実現する政治(本時7/7)
本時の目標	地域社会に住む様々な立場の人の願いや意見を尊重しながら、自分が住む地域にどのような公園が必要かについて話し合い、主体的に考えようとする。

#### ○ 指導過程

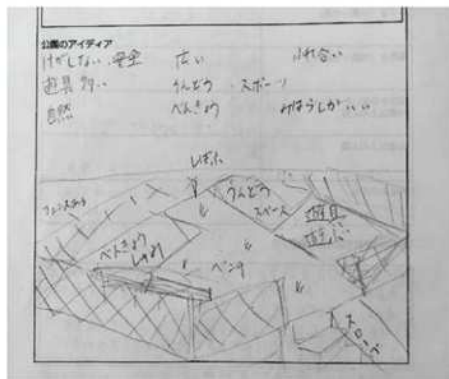
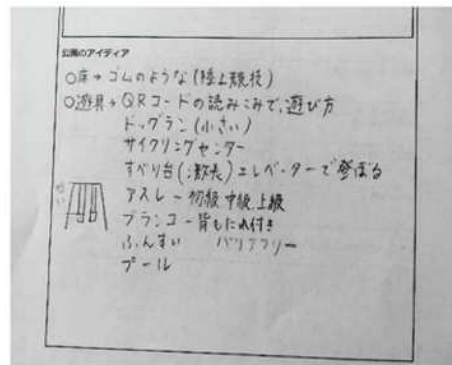
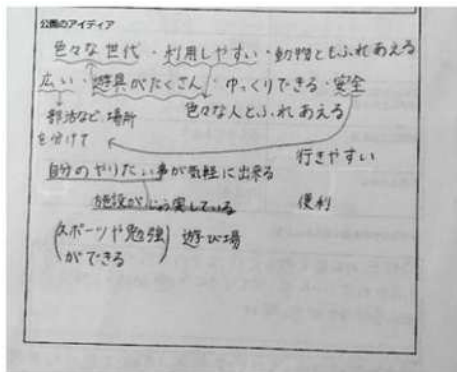
主な学習活動	形態	留意点(評価)
1 学区内の情報を整理する。 ○学区内の情報を確認しましょう。 ・様々な年齢の人が住んでいるんだな。 ・新しい家が増えているんだな。	全体	[資料] 岩沼西小学区の資料 ・人口についての資料 ◇さまざまな立場や年齢の人々が地域に住んでいることを理解させる。







③ 児童の書いたワークシートと感想  
〔ワークシート〕



〔感想〕

今日は、全ての世代の希望を叶えることはそれぞれの意見を聞くと違う意見が出て、難しかったけれど、時間を掛けてみんなで考えると、できるだけ叶えられる方法を見付けることができました。

自分だけで考えるのとは発想が違って、色々な世代に何かできることを踏まえて考えることができてよかったと思いました。

今日、理想の公園について考えてみて、たくさんの世代の考え方が違うためにそれぞれの考えを想像してまとめるのが難しいと感じました。実現するには難しくても、理想の公園がいつかかなえばいいなあと思います。

理想の公園を作るには、自分だけの意見を言ったら理想の公園じゃなくなるので、全ての世代の人の気持ちを考える必要があると思います。

友達と公園について話し合うと、建設費や面積などたくさんのことが必要なことが分かりました。計画をしているの市役所の人たちは大変だなと思いました。

友達と話し合ってみて、みんな目的が違って、テーマを決める時に何を大事にしたらいいのか考えるのが難しかったです。

イメージして公園をかくと、広さがとても広がってしまってお金もとてもかかると思いました。

〔実践授業の考察〕

これまでの租税教室や社会科の授業、税に関する絵はがきコンクールへの出品などの活動があったことにより、児童は「どの世代の人も楽しめるような公園」という視点をもって、それぞれの理想の公園について話し合う様子が見られた。中には、コミュニティセンターの見学のことを思い出して、「市の議員さんが10回も話し合ってやっとコミュニティセンターの計画が決まったのだから、公園を一つ作るのにも時間やたくさんの人の話し合いが必要だ」「この理想の公園の条件を全て叶えたとしたら、莫大な税金がかかってしまいそうだ」と、話し合う児童もいた。より一層、自分のこととして、政治や税金のことについて考える姿が見られるようになった。



## 7 研究の成果と課題

### (1) 成果

5 学年の租税教室が、税金についての知識を得る初めの機会として大変効果的であった。専門的な立場の方から話を聞き、難しい用語を分かりやすく教えていただいたことで興味・関心をもたせることができ、租税教育を行う上では大変有効的な活動であった。「税金がなくなったらどうになってしまうのか？」という教室でお話していただいた視点が、税金と生活との関わりが深いことについて理解を助けたと考える。

6 学年に上がり、社会科の公民の授業において、教科書に書かれている児童センター「あすばる」について学習したことは、「自分の住む岩沼市だったら」という視点をもつことができ、非常に有効であったと考える。後に、自分たちが住む岩沼市のコミュニティセンターへの見学活動の際には、既習内容を基に質問を考える様子が見られたり、岩沼市の理想の公園を考える実践授業では、コミュニティセンターの見学の際に「みんなが使える」という視点をもつことができたりと、今回計画した一連の学習活動によって、児童は市の政策と税金とのかかわりを強く結び付けて考えるようになった。そして、本研究で目標にした、「政治や税金の話をも自分のこととして考える」という求める児童の姿を達成できたように思う。

### (2) 課題

租税に関する授業は、小学校段階では、6 学年の社会科の分野で行う。今回、租税教室を5 学年の11 月に行ったため、少し期間があいてしまい、税金に関する知識を授業の中でもう一度確認する必要がある。子供の学習への意欲をより持続させるためには、租税教室を含めた校内の行事と単元学習の時期を調整し、実施していく必要がある。

また、今回コミュニティセンターと岩沼市議会会議場の校外学習を10 月、11 月と設定してしまったため、事後のアンケートがとれず、児童の考えの変容を十分報告することが叶わなかった。研究自体の方法と計画の見通しを再考し、より効果的な租税教育の指導方法の追究を続けたい。